

近畿車輛株式会社

事業方針

2019年 6月25日

代表取締役社長 岡根 修司

目次

1. はじめに
2. 当社の役割～社会貢献～
3. 主な納入実績
 - 3-1. 海外
 - 3-2. 国内
4. 連結業績の推移
5. 市場規模と動向
 - 5-1. 海外
 - 5-2. 国内
6. グループ総合力とグローバル化
7. 今後の事業展開



ドーハメトロ ベース契約75編成の製造完了

1. はじめに

企業理念

常に誠意と熱意を持って、優れた技術と創造力を発揮し豊かで快適な人間環境の実現に貢献します。

鉄道は地球環境にやさしく、安全安心な社会をささえる交通機関です。

これまでに培ってきた知見と新たな技術を重ねて、これからも旅客に信頼される高品質の鉄道車両を実現していきます。

当社は関係する人々と一丸となって、よりよい「モノづくり」を追求してまいります。



地域や社会そしてステークホルダーとの共存共栄を図り、法令を遵守して人と環境にやさしい車両の提供を通じて社会に貢献してまいります。

2. 当社の役割～社会貢献～

安全な製品づくりを第一に美しさと高品質を目指します。
当社が製造した東京メトロ日比谷線13000系と東武70000系は
共通仕様としながらも個性を持たせた車両です。



左：東武70000系 右：東京メトロ13000系



- 鉄道車両の構造を熟知した当社のデザインは安全な製品づくりと高品質につながります。
- 2020東京オリンピック/パラリンピックに向け、ホームドアを設置する日比谷線に対応する車両です。
- 東武70000系は快適性と利便性を目的に有料着席サービスが導入されます。当社でロング・クロスシート転換車両を製造します。

3-1. 主な納入実績 (海外)

これまでの納入実績の一例を紹介しています。

カイロ地下鉄公団 3号線



香港鐵路有限公司 EWC線



ニュージャージー交通局 LRV



カイロ

ドーハ

ドバイ

香港

KINKI SHARYO

ニュージャージー

ロサンゼルス

カタール鉄道 ドーハメトロ



ドバイ道路交通局 ドバイメトロ



ロサンゼルス郡都市交通局 LRV



3-2. 主な納入実績（国内）

これまでの納入実績の一例を紹介しています。

広島電鉄 ライトレール



南海電気鉄道 8300系



阪神電気鉄道 5700系



JR西日本 W7系新幹線



仙台市交通局 東西線



JR西日本 広島近郊電車



東京メトロ 13000系



JR西日本 TWILIGHT EXPRESS 瑞風



JR西日本 大阪環状線



近畿日本鉄道 しまかぜ



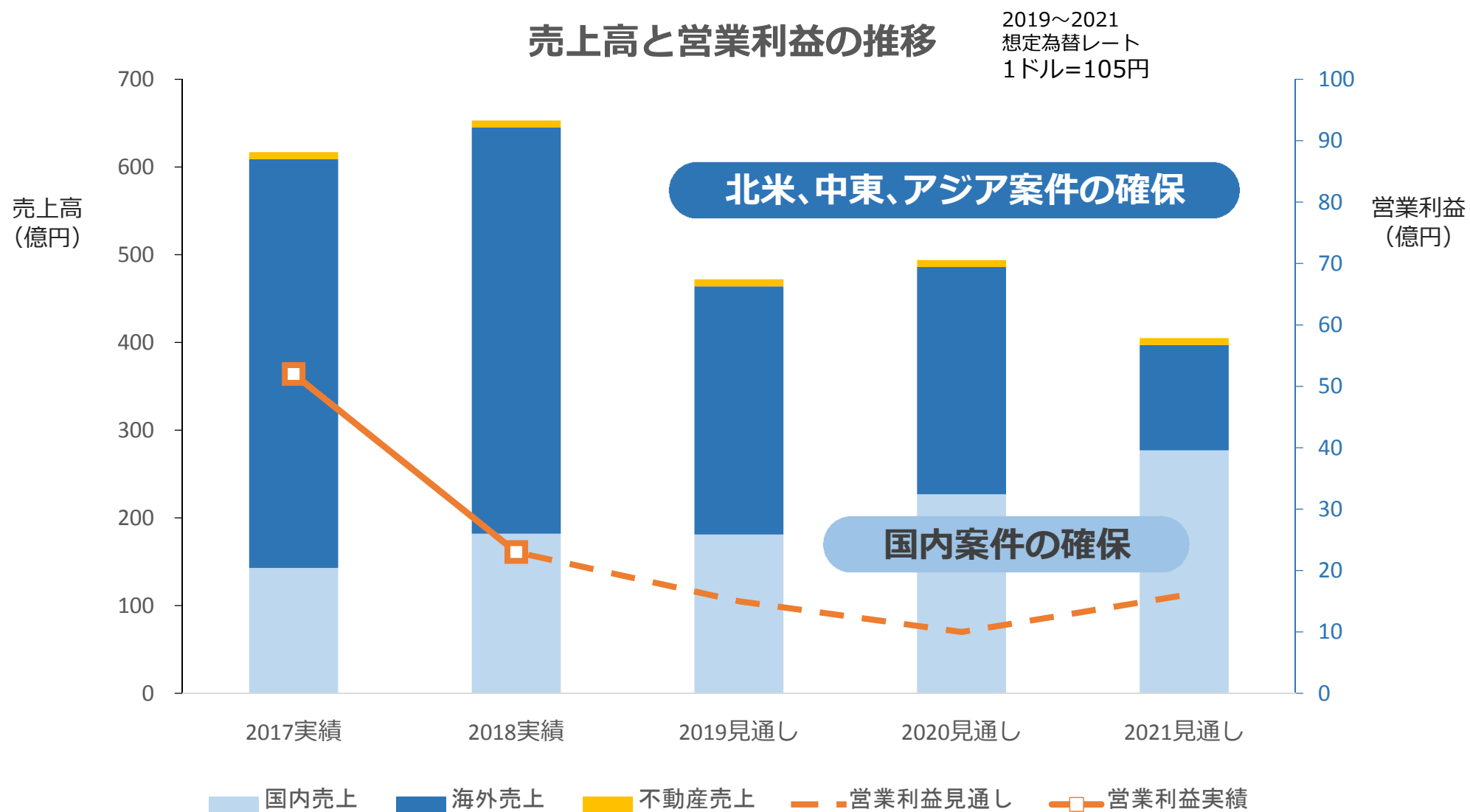
北大阪急行電鉄 9000形



東武鉄道 70000系



4. 連結業績の推移（実績及び予想）



5-1. 市場規模と動向（海外）

● 海外市場の拡大

特にアジアのインフラ整備需要が拡大しており、国土交通省が平成31年3月に発表した「インフラシステム海外展開行動計画2019概要」によるとアジアにおける莫大なインフラ整備需要が予想されています。また客先のニーズとしては、運行・保守等を含めたインフラ投資であり、パッケージ型需要への対応が必要になります。

● 価格競争の激化

市場は拡大傾向にありますが、依然として中車(中)・シーメンス(独)・アルストム(仏)などの超巨大企業との国際競争は、国家戦略レベルで激化するものと想定します。

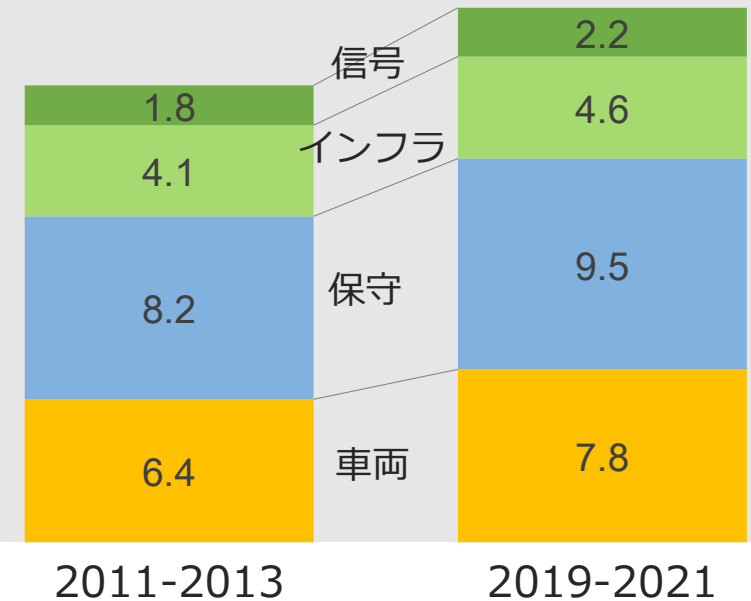
● 海外現地生産要求の高まり

アメリカにおける現地生産比率が70%へ高められ(バイアメリカン法) アジア圏等の案件受注の条件にも現地生産への移行や一部生産などが求められる傾向にあります。

海外鉄道産業の市場規模予測

約20兆円/年 ⇒ 約24兆円/年

(※)



(※) 欧州鉄道産業連合 (UNIFE) のレポートを基に作成された市場予測(国土交通省 海外展開戦略(鉄道)H29年10月)より作成

5-2. 市場規模と動向（国内）

●インバウンド需要

訪日外国人観光客の増加で鉄道利用者数が伸びています。2020東京オリンピック/パラリンピック、2025大阪・関西万博の開催により既存交通網の整備と都市と地方を結ぶ様々な観光列車などの需要が見込まれています。

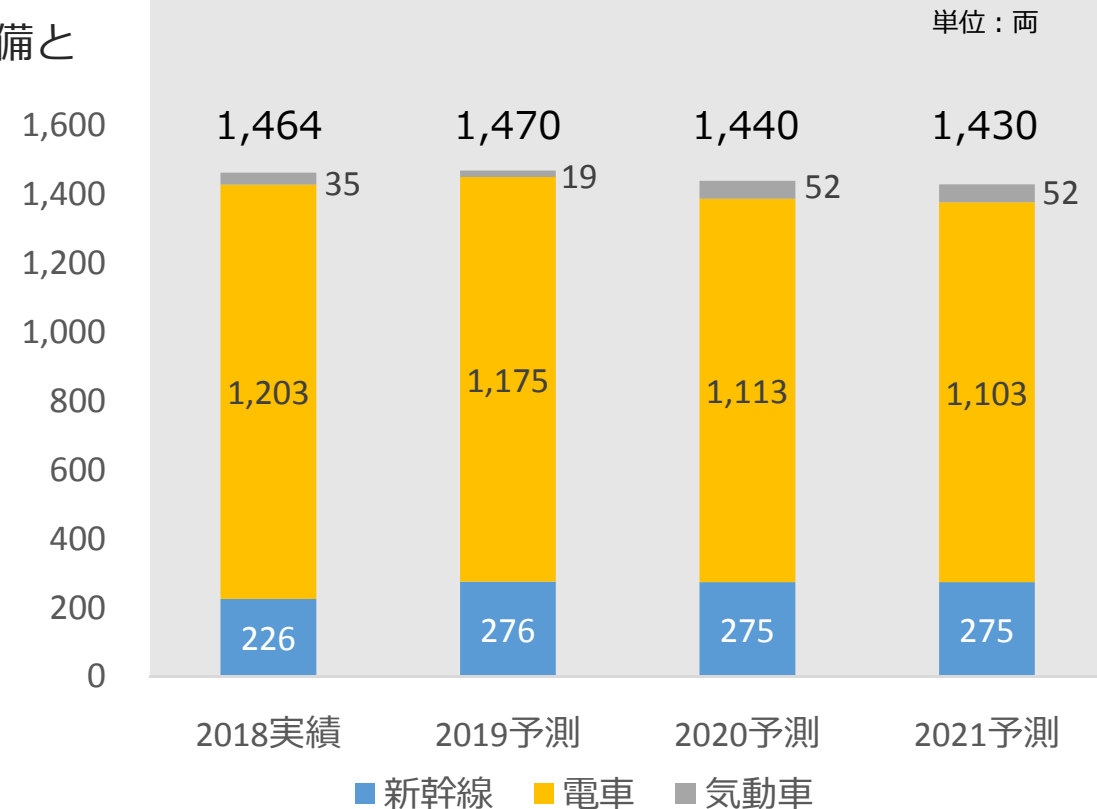
●周辺地域の新線計画

北陸新幹線	金沢～敦賀	2023年開業予定
中央線	コスモスクエア～夢洲	2024年開業予定
なにわ筋線	梅田～関空直結	2031年開業予定

●老朽車両の更新需要

国内市場では、新線需要よりも老朽化による更新需要の割合が高く、年間1400両程度の更新が見込まれています。

国内車両の需要見通し



(※) 日本鉄道車両工業会 2018年度鉄道車両の生産動態と需要見通しより作成

6. グループ総合力とグローバル化

欧州サプライヤーからの
グローバル調達

米国サプライヤーからの
現地調達

●本社大阪 徳庵工場

●ニュージャージー
ハドソンバーゲン 車両メンテナンス工場
ピスカタウェイ 車両改造工場

ドーハ

香港

●カリフォルニア
パームデール 車両組立工場

●九州事務所 ●名古屋事務所 ●東京事務所

国内グループ子会社

- 株式会社ケーエステクノス
- 株式会社ケーエスサービス

- ・鉄道車両向け窓戸製品及び内装ユニット製品の製造
- ・鉄道車両の改造、修理、保守業務
- ・設備管理、清掃、福利厚生、警備業務

米国グループ子会社

- KINKISHARYO International,L.L.C.
- Rail Transit Consultants,Inc.

- ・鉄道車両の最終組立
- ・車両の保守、改造工事
- ・システム設計

7. 今後の事業展開

● 海外事業

大きな成長も見込まれるがリスクも存在する海外事業につきましては、案件個々の評価を適正に実施すると共に人材育成と組織体制を強化いたします。これまでの実績から当社に優位性のある北米、中東、アジアを中心に事業を展開します。

● 国内事業

安定的に更新需要が見込まれる国内事業につきましては、既存顧客であるJR殿、近鉄殿をはじめ、公民鉄の鉄道事業者殿に対して高品質でリーズナブルな最適仕様の製品をご提案します。

本資料は、金融商品取引法におけるディスクロージャー資料ではありません。

本資料のうち、業績の見通し等に記載されている将来の数値については、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化による様々な要素により、見通しが大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。影響を与える要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、為替レートの変化、税制・諸制度があります。